



TWELVE MKII

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] rane-dj.jp

[サポート] rane-dj.jp/support

ユーザーガイド

はじめに

Twelve MKII をご購入いただきありがとうございます。Rane DJ は、あなたにとって音楽がどれだけ大切なものであるかを知っています。私たちは、あなたのパフォーマンスを最高にすることを、唯一念頭に置いて本製品を設計しました。

Twelve MKII はビュアでパワフルな DJ コントロール・システムです。金属製のそのボディに、慣れ親しんだターンテーブルのレイアウトを収めました。唯一の違いは、トーンアームの代わりに、ホットキューの設定やトラックの検索、設定を行うための、精密で多機能なタッチストリップを採用したことです。

多彩な DJ スタイルに適応するように設計された Twelve MKII は、ミックスやスクラッチにおける伝統的なターンテーブルのフィーリングを大切にしながらも、精密で高い耐久性を兼ね備えた、最高のデジタル・ソリューションとなります。

同梱物

Twelve MKII 本体

プラッターアセンブリ

- アルミプラッター
- スリップマット
- クイックリリース・アダプタ付きコントロールディスク (付属)
- スペーサー x4

電源ケーブル

USB ケーブル

ステレオ RCA ケーブル

ユーザーガイド/保証書

注： Serato と協力して設計された Twelve MKII は、Serato の公式アクセサリとなりました。Twelve MKII を Serato DJ Pro で使用するには、サポートされている Serato DJ Pro インターフェイス、コントローラー、ミキサー、または互換性のある Serato Club Kit ソリューションが必要です。

サポート

この製品に関する最新情報（ドキュメンテーション、技術仕様、システム要件、互換性情報など）および製品登録については、rane-dj.jp/をご覧ください。

その他の製品サポートについては、rane-dj.jp/support/をご覧ください。

セットアップ

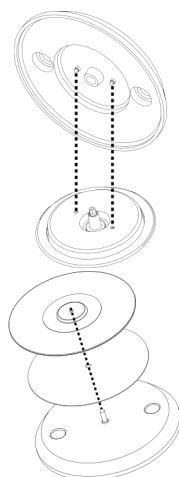
ご使用前に：

- Twelve MKII を使用する前に、安全および保証マニュアルをお読みください。
- はじめに>同梱物に記載されている項目が、すべて含まれていることを確認してください。リストに記載されていないアイテムは別売です。

1. プラッターシステムを組み立てる

1. パッケージから Twelve MKII 本体と、プラッターアッセンブリ (本体の下) を取り出します。組み立てと操作を行う場合は、安定した水平な場所に設置してください。
2. プラッターの背面にあるピンを、Twelve MKII 本体モーター部の穴に合わせます。プラッターを Twelve MKII に設置して、しっかりと押し込んでください。プラッターが均一に回転し、揺れないように調整してください。
3. スリッパットをプラッターの上に設置し、その上にコントロールディスクをスピンドルに通して設置します (クイックリリースアダプタがコントロールディスク上部に取り付けられています)。コントロールディスクをスピンドルにロックするには、スピンドルの上部をつまみながら、カチッと音がするまでディスクをゆっくりと回転させます。スピンドルの溝がクイックリリースアダプタの側面にあるボタンの反対側にあるときにロックされます。

注：ディスクのすべり具合を調整するときは、同梱されているスペーサー1~4をスリッパットの下にあるスピンドルに配置してみてください。スペーサーを使用してコントロールディスクの高さを上げるほど、より軽いスピンドルバックが得られます。



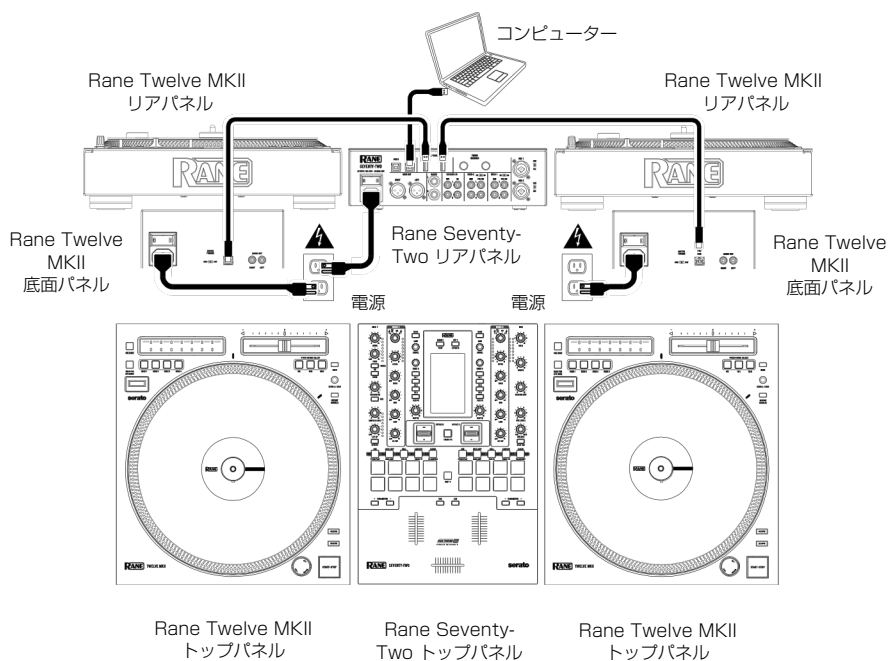
2. 機器を接続してDJプレイをスタート！

1. 最新バージョンのソフトウェアがインストールされていることを確認します。
2. 水平で安定した場所に Twelve MKII を設置します。
3. 電源がオフの状態で、付属の電源ケーブルを Twelve MKII に接続し、次に電源ケーブルをコンセントに差し込みます。
4. 電源スイッチを使用して、Twelve MKII の電源を入れます。
5. USB ケーブル (付属) を使用して、Twelve MKII と次のいずれかのミキシング・インターフェイスを接続します。
 - Rane Seventy-Two ミキサー (別売) で Twelve MKII を使用する場合は、Seventy-Two 本体リアパネルの **Twelve MKII / Controller Deck 1** または **Deck 2** の USB ポートに接続します。
 - 他のミキシング・インターフェイスを使用する場合は、USB ケーブルをコンピューターの使用可能な USB ポート、またはコンピューターに接続されたセルフパワータイプの USB ハブに接続します。
6. または、標準のステレオ RCA ケーブルを使用して Twelve MKII のオーディオ出力と、互換性のあるミキサーまたはタイムコード制御用の DVS 対応デバイスの入力端子を接続します。
7. Serato DJ Pro を立ち上げます。Twelve MKII は 2 つのモードで動作します：
 - **Serato USB**：このモードは USB 接続を介しソフトウェアをコントロールする、オリジナル Twelve と同じ動作です。このモードを使用する場合はソフトウェアをインターナル・モード (**Internal Mode**) に設定します。

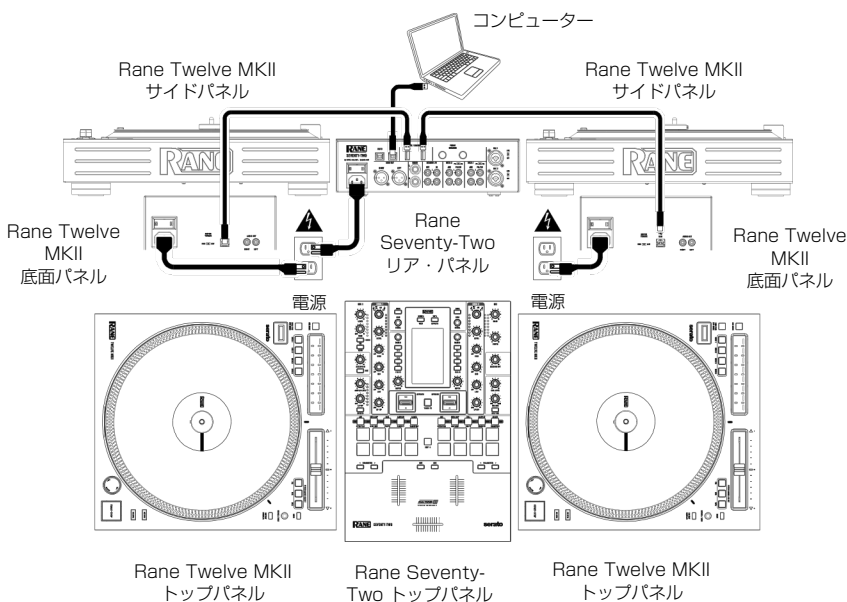
- **Serato DVS** : このモードは**オーディオ出力 (RCA)** 端子を介して DVS オーディオ信号を送信し、プлатターをコントロールします。このモードを使用する場合はソフトウェアをリラティブ・モード (**Relative Mode**) に設定します。

オーディオ出力 (RCA) ポート (DVS プラッター・コントロール用) と USB (ブラウザ、ロード/インスタント・ダブル、ホットキューなどの MIDI コントロール用) の両方を併用した接続をお勧めします。Serato DJ Pro と Twelve MKII の詳細な使用方法については、support.serato.com をご覧ください。

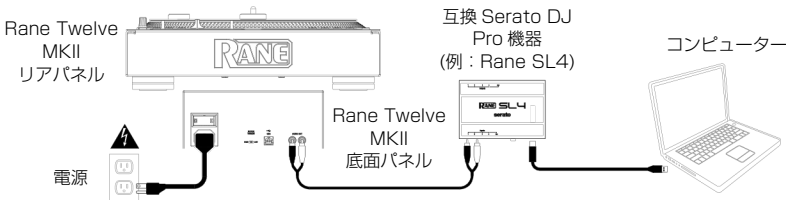
接続図 例 1 (バトルスタイル) :



接続図 例 2 (クラブスタイル) :



接続図 例 3 :



特徴

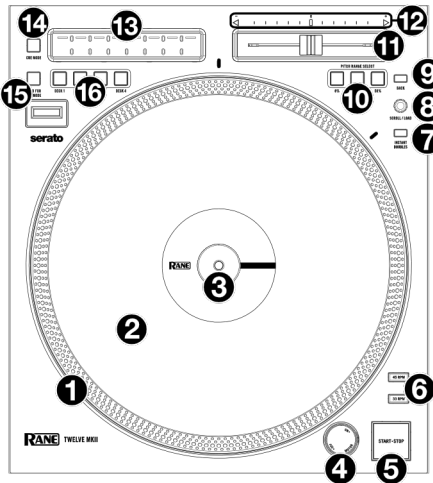
トップパネル

1. **高トルク・ダイレクトドライブ・プлатター** : 5.0kgf-cm モーターは、回転速度を表すドットを配したアルミプлатターを回転させます。

注 : プラッターの回転中に、プラッターを長時間押さえて同じ位置に留めないようにしてください。

2. **コントロールディスクとスリップマット** : 12 インチ (30.5 cm) ディスクでソフトウェアのオーディオ再生ヘッドを制御します。付属のスリップマットをコントロールディスクの下に敷きます (他のスリップマットも使用可能です)。付属のスペーサーの 1~4 個をスピンドルの上、スリップマットの下に設置することにより、コントロールディスクのスピンドルを軽くすることができます。

注 : ディスクに**クイックリリースアダプタ**を取り付けることにより、お好みのディスクを**コントロールディスク**として使用することも可能です。交換用ディスクには 3 つの 6 mm 穴を開ける必要がありますので、付属のディスクを参考にしてください。



3. **クイックリリースアダプタ** : コントロールディスクの上部に取り付けられており、コントロールディスクを**プлатター**に固定します。コントロールディスクまたはスリップマットを**プлатター**から取り外すときは、**クイックリリースアダプタ**の横にあるボタンを押しながらディスクをスピンドルから持ち上げます。ディスクをスピンドルに戻すときは、スピンドルの上部をつまみながら、カチッと音がするまでディスクをゆっくりと回転させます。スピンドルの溝が**クイックリリースアダプタ**の側面にあるボタンの反対側にあるときにロックされます。
4. **モーターのオン/オフとストロボライト** : ストロボライト上部にあるダイヤルを回して、**プлатター**モーターを**オン/オフ**します。例えば、再生中の**プлатター**をオフにした場合、ターンテーブルの電源を切った時のように、回転が徐々に遅くなり最終的に停止するといった技も可能です。

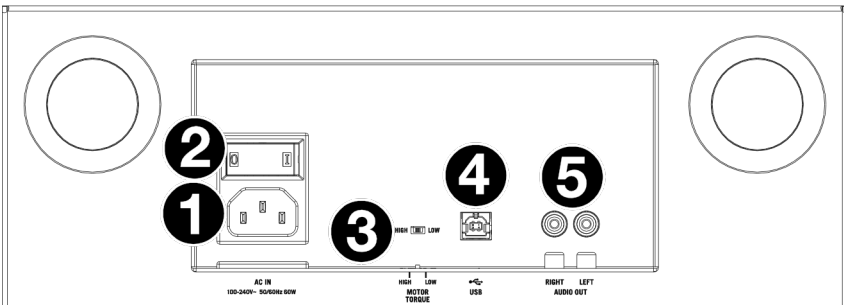
ストロボライトは**プлатター**のエッジを照らし、**プлатター**の回転が安定しているかを示します。**プлатター**の回転中に、ストロボライトに照らされる**プлатター**のドットを確認してください。回転が安定している場合は、ドットは静止しているように見えます。回転が不安定な場合は、ドットが動いているように見えます。

5. **START/STOP (スタート/ストップ)** : このボタンを押して、プлатターの駆動と停止を行います。ボタンを囲む LED は、電源がオンの状態で、トラックが再生されていない場合は薄暗く点灯し、再生されている場合は明るく点灯します。トラックが終わりに近づくと、赤色で点滅します。
 6. **33&45 RPM** : これらのボタンの 1 つを押して、プлатターの回転速度 (RPM) を設定します。点灯しているボタンが、現在の選択を示します。
 7. **INSTANT DOUBLES (インスタント・ダブル)** : このボタンを押すと現在再生中の曲がアクティブなデッキにロードされます。
 8. **SCROLL/LOAD (スクロール/ロード)** : このノブを回してリストをブラウズします。このノブを押すと項目を選択したり、選択されているトラックをデッキにロードすることができます。
- ヒント** : このノブをすばやく 2 回押すと、両方のデッキに同じトラックがロードされます (インスタント・ダブル)。
9. **BACK (バック)** : このボタンを押してソフトウェアの画面を前に戻します。
 10. **PITCH RANGE (ピッチレンジ)** : これらのボタンの 1 つを押して、ピッチフェーダーの範囲を $\pm 8\%$ 、 $\pm 16\%$ 、 $\pm 50\%$ に調整します。
 11. **ピッチフェーダー** : このフェーダーを動かして、トラックの速度 (ピッチ) を調整します。PITCH RANGE ボタンでピッチレンジを調整することができます。
 12. **テイクオーバー-LED** : **デッキセレクト** ボタンで別のデッキを選択すると、Twelve MKII のピッチフェーダーの位置がソフトウェア上のピッチと一致しないことがあります。その場合、**テイクオーバー-LED** の矢印で示される方向に、ゆっくりとピッチフェーダーを移動させてください。この操作により、ピッチフェーダーはソフトウェア上のピッチにマッチし、再びコントロール可能となります。
 13. **タッチストリップ** : 感圧ストリップは、トーンアームの替わりになります。タッチストリップ・モード (Touch Strip Mode) の設定に応じて、トラックの再生位置を選択できます。
 14. **CUE MODE (キュー・モード)** : このボタンを押して、**タッチストリップ** をニードルドロップ・モードとホットキューモード間で切り替えることができます。ニードルドロップが選択されている場合 (デフォルト) は、ボタンは薄暗く点灯します。ホットキューが選択されている場合は、ボタンが明るく点灯します。
 - **ニードル・ドロップ・モード**
 - i. **CUE MODE** ボタンを押すと、薄暗く点灯します (工場出荷時のデフォルト設定)。
 - ii. **タッチストリップ** の長さは、トラック全体の長さを表します。タッチストリップに触れることで、トラックの適応するポイントに移動します。タッチストリップ上の白色の LED は、トラックの再生位置を表します。
 - **ホットキュー・モード**
 - i. **CUE MODE** ボタンを押すと、明るく点灯します。
 - ii. **タッチストリップ** の消灯している箇所に、ホットキューを割り当てることができます。ホットキューを設定する場合は、トラックの任意の位置で、タッチストリップにタッチしてください。ホットキューが割り当てられると、セクションが点灯します。ソフトウェア側の設定で、ホットキューポイントの色が決定します。
 - iii. トラックの再生中にホットキューを押すと、トラック上の設定したポイントに移動します。
 - iv. ホットキューポイントを削除するには、**CUE MODE** ボタンを押したまま、削除したいセクションを押します。
 15. **DVS MODE (DVS モード)** : このボタンを長押ししてアクティブな DVS モードを変更します。ボタンが点滅し始めたら、このボタンをタップして利用可能なタイムコード信号のオプションを切り替えます。オプションはボタン下の OLED 画面に表示されます。目的のモードがディスプレイに表示された後、3 秒待つと確定します。選択が完了するとボタンの点滅が止まり OLED 画面もオフになります。現在のモードを表示するには DVS MODE ボタンをタップします。

16. **デッキセレクト**：Twelve MKII で Serato DJ Pro のどの再生デッキを制御するかを選択します。ミキサーデバイスに十分なチャンネルが装備されている場合、最大 4 台の Twelve MKII を Serato DJ Pro 用コントローラーとして使用可能です。例えば、Rane Seventy-Two のような 2 チャンネルのミキサーを使用している場合は、最大 2 台の Twelve MKII を接続することができ、最初の 2 チャンネルをコントロールできます。一度に複数の Twelve MKII を使用している場合は、それぞれの Twelve MKII がどのデッキに割り当てられているかを、確認する必要があります。

- i. Twelve MKII の電源を入れます。接続された Twelve MKII のすべての**デッキセレクト**ボタンが点滅します。
- ii. 各 Twelve MKII の**デッキセレクト**ボタンを押して、コントロールするデッキを選択します。Deck Select ボタンが明るく点灯し、他の Twelve MKII のボタンが暗く点灯します。
- iii. アサイン可能な別のデッキに切り替えるには、対応する**デッキセレクト**ボタンを押します。
- iv. デッキの選択を解除するには、対応する**デッキセレクト**ボタンを 2 秒間押し続けます。新たなデッキを選択する準備が整うと、選択可能なデッキのボタンが点滅します。

底面パネル



1. **電源入力**：標準の IEC 電源ケーブル（付属）を使用して、Twelve MKII を電源コンセントに接続します。電源がオフの状態、電源ケーブルを Twelve MKII に接続し次に電源ケーブルをコンセントに差し込みます。
2. **電源スイッチ**：このスイッチを使用して、Twelve MKII の電源をオン/オフします。
3. **MOTOR TORQUE（モータートルク）**：このスイッチを切り替えて、**プлатター**のトルクを調整します。**High** に設定すると、プлатターは「モダンな」ターンテーブルのように、力強く回転します。**Low** に設定すると、「クラシック」なターンテーブルのように、より軽く滑らかに回転します。
4. **USB ポート**：USB ケーブル（付属）を使用して、Rane Seventy-Two（別売）または、お使いのコンピュータの USB ポートに接続します。
5. **AUDIO OUT（オーディオ出力）（RCA）**：ステレオ RCA ケーブルをこの出力に接続して、内部タイムコード信号を互換性のあるミキサーまたは他の DVS 対応デバイスの入力に送信します。

付録

技術仕様

モーター	ドライブ	クォーツ ・ ダイレクトドライブ
	トルク	高：5.0kgf / cm (起動時) ; 3.4kgf / cm (安定時) 低：3.2kgf / cm (起動時) ; 1.4kgf / cm (安定時)
	起動時間	0.4 秒
	ブレーキシステム	電気
プлатター	材質	アルミニウム ・ ダイカスト
	直径	13.1 インチ/ 332 mm
	重量	4.9 ポンド / 2.2g
スピード	33 1/3、45 RPM	
ピッチレンジ	± 8%、± 16%、± 50%	
コネクタ	USB タイプ B ポート x1 ステレオ RCA 出力 x1 IEC 電源ケーブル入力 x1	
電源	接続	IEC
	電圧	100-240 VAC, 50/60 Hz
	消費電力	60 W
サイズ (w x d x h)	368 x 413 x 90 mm	
重量	9.3 kg	

仕様は予告なしに変更されることがあります。

商標とライセンス

Rane は、InMusic Brands, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。Serato、Serato DJ Pro、および Serato ロゴは、Serato Limited の登録商標です。

他のすべての製品名、会社名、商標、または商号は、それぞれの所有者のものです。

無料修理規定

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品を取替える場合。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- inMusic Japan は、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japan でのみ行われるものとします。
- オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は、本保証の対象外となります。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマーサポート へご相談ください。

保証書	
製品名：	
製品番号：	
ご購入日：	
保証期間： ご購入日から一年間	
お客様	販売店
お名前：	販売店名：
ご住所：	ご住所：
お電話：	お電話：

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート
〒106-0047 東京都港区南麻布3-1 9-2 3 オーク南麻布ビルディング6F
お問い合わせ：rane-dj.jp/support

- 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。